

# 令和5年度市町村長の災害対応力強化のための研修の開催

## 防災課

出水期を迎えるにあたり、消防庁では『市町村長の災害対応力強化のための研修』を以下のとおり開催します。

今年度は本研修の受講枠を拡充しましたので、災害対応に万全を期すためにも、積極的な受講をお願いします。

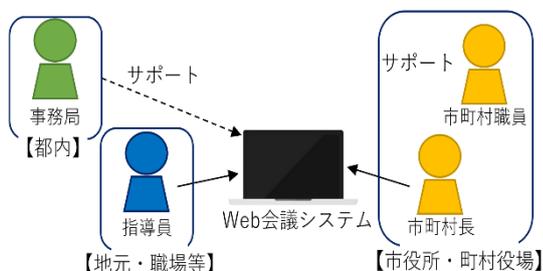
### 1 研修の概要

市町村長が、災害の警戒段階から発災後に至る重要な局面で、的確かつ迅速な判断や指示を行えるよう、市町村長の災害対応力の強化を図るための研修です。

風水害をテーマに、研修指導員と「1対1」で、災害の警戒段階から発災後に至る重要な局面を警戒期、発災・初動対応期、避難生活期の3つに分け、それぞれの局面における必要な対応や意思決定についてシナリオ非提示型の実践的なシミュレーション訓練をWeb会議システムにて実施します。

なお、研修の最後には、市町村長相互の意見交換の場（オンライン）を設ける予定です。

<研修概要図>



#### 【開催時期】

令和5年6月頃（前期）・11月頃（後期）

※ 全10回 各回半日間実施

#### 【対象者】

全国の市町村長 200名（全10回×各20名）

#### 【局面ごとの必要な対応や意思決定の例】

- ・市町村の災害対応体制の確立
- ・避難情報の発令判断と伝達
- ・大規模災害発生直後の被害状況の確認
- ・マスクミ対応

#### 【募集時期】

令和5年4月頃（前期）・9月頃（後期）

### 2 研修実績

#### ■ 受講人数

- ・平成30年度 50名（対面形式）
- ・令和元年度 161名（対面形式）
- ・令和2年度 116名（オンライン形式）
- ・令和3年度 118名（オンライン形式）
- ・令和4年度 158名（オンライン形式）

**合計** 603名

#### ■ 令和4年度研修参加者の声

- ・災害発生の初動対応に係る意思決定や危機感を伝える市民への情報伝達、マスクミ対応など、市長として成すべき災害対応をイメージすることができ、有意義な研修であった。
- ・災害時は色々な関係者への連絡、指示を電話やWEBで行うことが多いため、今回はその訓練も兼ねた研修となり、とても役に立った。
- ・研修の内容のみならず、指導員の方の災害経験談も大変参考になった。
- ・全国の首長が参加されていて、WEBを通じて色々な体験談もお聞きすることができ、非常にいい研修であったと思う。



（令和4年度の研修の様子）

問合せ先：消防庁国民保護・防災部防災課 福原、遠矢、木本  
TEL：03-5253-7525